



2022 年度
第 42 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけませんか？

2022 第 26 回
ANOC ソウル総会
成功裏に終了



W 杯競技場の外は撮るな
カタール
マスコミ規制に
乗り出した



新体操
C 講師の
良心のない金儲け
まな板の上



KPGA
金ハンビョルに
罰金 1000 万ウォン
ボランティア 40 時間



祖国から
捨てられた
偉大な
銀メダリスト

ヒジャブ未着用
イラン選手
自主帰国か
釈明要求



01 開かれたニュース通信 2022. 10. 22**2022 第 26 回 ANOC ソウル総会成功裏に終了**

大韓体育会とソウル市が共同で主催した 2022 第 26 回 ANOC ソウル総会 (XXVI ANOC GENERAL ASSEMBLY SEOUL 2022) が四日間の大長征を成功裏に完了した。(訳注: ANOC: Association of National Olympic Committees 国内オリンピック委員会連合会。各国の NOC (国内オリンピック委員会) の連合体。1979 年結成。オリンピックについて IOC と協議し必要な事項を要求したり、NOC 相互の共通問題を討議する。本部はパリ。)

2006 年以降 16 年ぶりにソウルで開催された今回の総会には 203 の国家オリンピック委員会 (16 のオンライン参加) 代表团とトーマス・バッハ国際オリンピック委員会 (IOC) 委員長、種目別国際連盟 (IFs) およびオリンピック大会組織委員会など国際スポーツ界の主要人物が参加し、国内からは尹錫悦大統領、朴ボギョン文化体育観光部長官などが参加して席を輝かせた。

今回の総会期間中には各種の会議やイベントが開かれた。初日の 18 日、ANOC 執行委員会会議及び大韓体育会、歓迎レセプションを皮切りに、ANOC 総会本会議 (19~20 日)、ANOC アワーズ (19 日) をはじめ、開催都市であるソウル特別市の晩餐会 (20 日) が行われ、最終日の 21 日 ANOC ワークショップを最後に全体日程が終了した。

ANOC 総会本会議では、国際スポーツ界の様々な懸案を議論する場が設けられた。特に ANOC は開会式で李キフン大韓体育会長に感謝の牌を伝え、成功的な総会の開催に対する感謝を示した。また、2 日目会議では ANOC 会長選挙を通じてロビン・ミッチェルが今後 4 年間で導く新しい ANOC 会長に選出された。また、首席副会長にはシェイクジョアン・ビン・ハマド・アルタニ、カタールオリンピック委員会委員長が名前を連ねるなど、新しい執行委員会が構成された。

ANOC アワーズではファン・デホン選手が「2022 北京五輪の最高男子選手賞」を受賞した。ファン・デホン選手は「母国である大韓民国で開催した ANOC 総会でこのように良い賞を受けることになって、ますます栄光」とし、「もっと良い選手になれるよう努力したい。これからもたくさんの応援と関心をお願いする」と所感を伝えた。

他にも「2022 年の北京五輪の最高の男子チーム」にはスウェーデンカーリングチーム、「2022 年北京五輪の最高女子チーム」にはカナダのアイスホッケーチーム、「2022 年北京五輪の最高混成チーム」には米国スノーボードチーム (ニック・カートナー、リンゼイジャコベルリース)、「2022 年北京五輪の最高女子選手」には中国の冬季スポーツのアイコンとして浮上したエイルリン・グ、「スポーツキャリア賞」はオランダスケート英雄のスベン・クラマー、「優秀な成果を見せた NOC」には中国五輪委員会、「オリンピック・ムーブメントに対する功労賞」にはクレイグ・リディ (元 IOC 副委員長) が受賞の栄誉を抱いた。

最終日に開かれた ANOC ワークショップでは、国際スポーツ界の話題である「持続可能性 (Sustainability)」などをテーマにした討論が行われた。ワークショップは ANOC 総会に初めて導入されたセッションで、国際スポーツ界関係者の多様な意見と知識を共有する場として生まれ変わった。

今回の総会に参加した尹錫悦大統領は「スポーツ分野全般に自由と連帯の精神が溶け込めるよう最善を尽くすことはもちろん、スポーツを通じて国際社会に寄与する」と伝えた。続く晩餐会で「2024年1月江原道平昌と江陵で開かれる第4回冬季青少年オリンピックが全世界の青少年にオリンピックの価値を経験できる特別な機会になるよう大会の成功的な開催のためにIOCとANOCの格別な関心と協力をお願いする」と話した。

また尹大統領は「IOCが気候変動に対する人類の共同対応を重視する国際機関であるだけに、2024江原道冬季青少年オリンピックに参加する世界青少年が炭素中立の重要性を体験し実践できるよう企画してほしい」と晩餐会に参加した参謀たちに注文した。

トーマス・バッハIOC委員長は「江原冬季青少年オリンピックは炭素中立を実践する大会になると期待している」とし「参加した選手たちに炭素中立に対する事前教育を提供し認識改善プログラムも運営する計画」と話した。

大韓体育会は今回のANOCソウル総会の成功的な開催が、今後開かれる2024江原道冬季青少年オリンピック大会をはじめとする各種スポーツイベントの成功につながると期待し、今後も大韓民国スポーツの国際力量と外交力を強化し、スポーツを通じた人類和合などオリンピック運動の伝播に先頭に立っていききたいとした。

出典：<https://www.onews.tv/news/articleView.html?idxno=141772>

02 スポーツ京郷 2022.10.18

「W杯競技場の外は撮るな」カタール、マスコミ規制に乗り出した



W杯開幕を1ヵ月後に控え、カタールが大々的なマスコミ規制に乗り出した。競技場の外で起こることについては取材しないというのが規制の要旨だ。ワールドカップ誘致・準備過程での労働者人権弾圧実態を隠蔽しようとする試みという批判が出ている。

英国日刊紙「ガーディアン」は15日(現地時間)「カタール政府が撮影規制を施行したことにより英国国营放送BBC、民営放送ITVなどは移住労働者を収容する宿泊施設、政府庁舎、大学、礼拝堂、病院、住居用建物および個人事業体で撮影することが事実上禁止される」と報道した。

メディアによると、カタール政府は国内有名場所での写真・ビデオ撮影のためには、必ず政府当局の許可を受けなければならないと規定した。この規定は、特定の場所でのメディア取材を完全に禁止するものではないが、撮影可能な場所を制限することで、ワールドカップに関連するカタール現地の状況を深層取材することを防いだ。

カタール政府はこの規定に「ワールドカップを取材する放送会社は個人のプライバシーを尊重しなければならないと明示した。明示的な事前承認なしに個人あるいは個人の私有財産を撮影してはならない」と明示した。

ガーディアンはこのような規制措置がワールドカップ基盤施設建設に動員された移住労働者にインタビューしたり、カタールのLGBTQ+(性少数者)権利に関する討論の場を作ることを難しくしていると批判した。カタール当局は2015年ワールドカップと関連した現地人権弾圧実態を取材していたBBC記者たちを逮捕し拘禁した経緯がある。当時、新しい移住労働者宿舎を紹介する総理主管メディアツアーに招請された4人

の BBC 記者たちは移住労働者労働実態に対して追加取材をしていたところ逮捕された。彼らは尋問を受け、2 日間拘留され、釈放された。

昨年 11 月にはワールドカップを控えてカタールで移住労働者の状況を取材していたノルウェー公営放送 NRK 所属記者 2 人が取材を終えて出国しようとして逮捕され 36 時間にわたり拘禁された。逮捕直前、この記者の一人は NRK ニュースに現場連結で出演し「一部の労働者がひどく仕事をしている」と伝えた。カタール最高委員会はこのようなガーディアン報道内容を否認し「色々な地域・国際言論がカタールに基盤を置いており、毎年数千人の言論人がカタールで干渉なしに自由に報道している」と明らかにした。スペインのスポーツメディア「マルカ」は 15 日、「ほとんどのメディアはワールドカップが開かれる国の生活がどうなのかを盛り込むために現地に記者を派遣する。カタールのこのような言論規制はカタールでの生活を取材しようとするマルカ関係者にも影響を及ぼしかねない」と批判した。

英国ロンドンの人権団体「フェアスクエア」の活動家ジェームズ・リンチはガーディアンのインタビューでカタールの言論規制が「メディアがサッカーと関連のない話をしにくくする非常に広範囲な制限」とし「表現の自由を大きく抑圧するもの」と話した。

出典：https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202210181548003&sec_id=520501&pt=nv

03 プレシアン 2022. 10. 24

新体操 C 講師の良心のない金儲け「まな板の上」



文化体育観光部と大韓体育会など政府はスポーツ 4 大悪と規定した不正金品授受不正に対して別名「ワンストライクアウト」方針を立て「無寛容原則」を適用している。しかし、政府のこのような自浄努力にもかかわらず、良心無く奇想天外な手口で不適切に金を受け取っているある新体操講師の不正百態について集中取材した。

大韓体操協会新体操分科委員長と大邱広域市 J 中学校新体操放課後講師として活動中の C 講師の良心のない金儲け手段が世間に知られ、新体操全般に対する監査がなされなければならないという指摘だ。

C 氏は 2019 年大邱 J 中学校新体操放課後講師として就職し、現在も該当学校の新体操放課後学習「個人委託用役」を受け持っている。

大邱市教育庁と大邱 J 中学校の放課後学校講師の就業規則と職務は大邱市教育庁の放課後学校運営計画書に従うことになっている。

大邱 J 中学校のホームページに掲示された 2020～2022 年までの新体操放課後学校特別課程個人委託講師公募によれば、J 中学校新体操放課後講師は月～金の午後 4 時から 6 時まで(2 時間)時間当たり 30,000 ウォン、週当たり 10 時間 300,000 ウォン月平均 1,200,000 ウォンの報酬を受け取ることになっている。

だが、C 講師は形式的には放課後講師だが、実際は学校運動部指導者に化けて新体操部学生選手たちが授業を終了した後から夕方 8 時 30 分まで同校新体操学生選手を指導するかと思えば他校の高等・小学生たちも指導している。

一般的に全国のすべての学校運動部の指導者は該当種目の体育指導者資格証がなければならないが、C 講師は体育指導者資格証がないと知られている。

このため、J 中学校が便法で体育指導者資格証が必要ない放課後講師として C 氏を委託公募した後、実質的には学校運動部指導者に変身させた可能性が高い。

これと関連しては、学校側の釈明が必要とみられる。

このように一部の保護者の情報提供とその学校で選手を指導したコーチなどの情報提供によると、C 講師は公共機関と用役契約を締結した放課後講師の身分でありながらも学生選手を指導する指導者という優越的地位を持つようになった。

これを通じて C 氏は学校会計に編入していない教習費を保護者名義の通帳などを利用して入金してもらい手口などで毎月数百万ウォンの教習費を手にした。

もちろん、所得申告や別途の現金領収書発行はほとんどなかったという情報提供者の証言だ。

これだけでなく、C 氏は公共国家施設である J 中学校体育館で自分の誕生日パーティーを慣例的に開き、この過程で学父母からブランド品もプレゼントされた。

C 氏はまた、J 中学校新体操部の内部運営と関連して、その事実が外部に流れるのを防止するため、統制の手口で保護者の携帯電話を検閲する行為も日常的に行った。

また、自分が運営する塾の受講生を J 中学校の体育館に呼び込み、教習行為を日常的に行うなど、公教育現場を徹底的に自分の営利手段として利用した証言が相次いでいる。

これに対して 19 日、C 氏の反論を聞くために反論要求電話をかけたが「自身は取材に答える理由がない」という立場を明らかにした経緯がある。

関連した保護者 A 氏は「本当にとんでもないことが公教育現場で起きている」として「これは学生選手を人質にした最悪の人権蹂躪事態」として学校当局の責任究明などが必要だと強調した。

また「大邱市教育庁に陳情調査を要求した状態」として正確な事実可否が明らかになることを願うという立場だ。

一方、現在大邱市教育庁が C 氏が活動中の J 中学校新体操部運営全般に対して監査に突入したことが知られ、大邱市教育当局と体操界の成り行きが注目されている状態だ。

また、大韓体操協会も大韓体育会の調査指示により、27 日にスポーツ公正委員会を開き、関連事案を扱うと伝えられた。

出典：

https://www.pressian.com/pages/articles/2022102418114022757?utm_source=naver&utm_medium=search

04 ヘラルド経済 2022. 10. 24

KPGA、金ハンビョルに罰金 1000 万ウォン、ボランティア 40 時間懲戒



韓国プロゴルフ協会賞罰委員会（姜範錫委員長）が試合中、フォアキャディに暴言と悪口を言った金ハンビョル（26）に罰金 1000 万ウォンとボランティア 40 時間の懲戒を下した。

KPGA は 24 日、京畿道城南市西板橋の KPGA 会館で賞罰委員会を開き、金ハンビョルに対する懲戒を審議した。賞罰委員会は、金ハンビョルがエチケット違反でゴルフファンのひんしゅくを買ったり、協会または

他の会員の威信を失墜させたとして、罰金 1000 万ウォンとコリアンツアーオリファインディングトーナメントファイナルステージでフォアキャディボランティア活動 40 時間の懲戒を下した。

実質的な懲戒は 12 月 7 日に開かれる理事会の承認を経た後、直ちに施行される。また、出場停止の罰がなく、金ハンビョルが今季残りの試合に出場するには問題がない。金ハンビョルは賞罰委員会に出席する前に、すでに 11 月 3 日から 4 日間、慶北善山のゴルフゾーンカウンティ善山ゴルフ場で開かれるゴルフゾーン-東レオープンに出場申請をしている状態だ。

黒いスーツ姿で賞罰委員会に出席した金ハンビョルは、30 分間当時の状況を説明した後、フォトラインに立った。金ハンビョルは「まず私の分別がなく思慮深くない行動と不適切な言動で心の傷を負った方々にもう一度心からお詫び申し上げます。私に送ってくださった叱責と叱りを深く刻み、二度とこのような無責任な行動が繰り返されないよう反省し自省します。失われた信頼を回復し、より成熟した選手に生まれ変わるように、私ができる限りの努力を尽くし、これから責任感のある正しい選手になります」と話した。

金ハンビョルは 2 日、京畿道驪州のパラムクラブで開かれた KPGA コリアンツアー現代海上チェ・ギョンジュインビテーション 4 ラウンド途中、4 番ホールでティーショットしたボールを見つけられなかったフォアキャディに暴言と悪口を言ってこの日賞罰委に回付された。フォアキャディはボールの落下地点近くにとどまり、選手たちが打ったボールを探してくれる役割をする試合進行要員だ。

金ハンビョルは KPGA の懲戒とは別に、文化体育観光部傘下機関であるスポーツ倫理センターの調査も受けることになる。スポーツ倫理センターは職権調査を通じて被害者から被害事実陳述を聞き、参考人確認などを経て被申告人の人権侵害事項を調査する予定だ。

出典：http://news.heraldcorp.com/sports/view.php?ud=202210241358098637506_1

05 SBS NEWS 2022. 10. 20

祖国から捨てられた偉大な銀メダリスト



スポーツマガのスポーツ外史トーク番組「口に出すよもやまスポーツ」！過去のスポーツであったありとあらゆる奇妙で奇怪だったことを、スポーツマガのチェ・ヒジン記者とスポーツ記者経歴 32 年の SBS スポーツ取材部のクオン・ジョンオ記者が一緒にご紹介します。

今回は祖国で裏切り者と烙印を押されたオリンピック英雄についての話です。1968 年メキシコシティオリンピックの陸上競技男子 200 メートル授賞式の時、オリンピック史上最も有名な事件が起きました。金メダルと銅メダルを取ったアメリカの 2 人の黒人選手が人種差別に反対するパフォーマンスを披露したのです。トミー・スミスとジョン・カルロスは、アメリカの国歌が演奏される時に頭を下げたまま、黒い手袋をはめた拳を持ち上げました。「ブラックパワーサリュート (Black power salute)」と呼ばれる沈黙デモで、当時アメリカ社会に蔓延していた人種差別を糾弾したのです。

国際オリンピック委員会 (IOC) は、すべての政治的表現を禁止するオリンピック憲章に反する行動をしたという理由で、2 人の選手をオリンピック選手村から追放し、アメリカオリンピック委員会も彼らの選手

資格を剥奪しました。当時、アメリカ出身の白人であるブランデー IOC 委員長はさらに「一部没落したニグロたちの醜態」と強く非難したりもしました。

ところが、当時銀メダリストだったオーストラリアのピーター・ノーマンも大きな試練を経験しました。

ノーマンは白人でしたが、2人の選手の人種差別反対運動に志を同じくし、授賞式の時に胸に

OPHR(Olympic Project For Human Rights、人権のためのオリンピックプロジェクト)バッジをつけまし

た。これにより、ノーマンは祖国オーストラリアで裏切り者と烙印を押されることになります。当時オーストラリアでも「白虎主義」という白人至上主義、人種差別が蔓延していたからです。オーストラリアの主流社会では黒人の意思で参加したノーマンの行動は相応しくないと考えられました。

ところが皮肉なことに、ノーマンの試練はスミスとカルロスの2人のアメリカ人選手よりも長く続きました。スミスとカルロスはその後黒人民権運動の英雄として扱われましたが、ノーマンは祖国オーストラリアで長年蔑視と冷遇に苦しみ、2006年10月64歳で寂しく生涯を終えます。ノーマンへの感謝の気持ちを忘れなかったスミスとカルロスは、ノーマンの葬式に出席し、棺桶を運びました。

ノーマンが世を去って6年後の2012年8月、オーストラリア連邦議会はノーマンに「オーストラリア人の仕打ちが苛酷だった」と一歩遅れて謝罪し、オーストラリアオリンピック委員会は2018年ノーマンに死後有功勲章を授与し、彼の名誉を回復させました。

オリンピック史上最も偉大な銀メダリストのピーター・ノーマンの物語、よもやまスポーツでお楽しみください。

出典：https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1006936163&plink=ORI&cooper=NAVER

06 聯合ニュース 2022.10.19

「ヒジャブ未着用イラン選手、自主帰国か」釈明要求



市民・人権団体が最近、ヒジャブを着用せずにソウルで開かれた大会に出場したイランのクライミング選手エルナズ・レカビ(33)の強制帰国措置疑惑を解明するようイラン政府に促した。

16団体の連帯体である「イランデモを支持する韓国市民の集い」は19日、ソウル龍山区の駐韓イラン大使館前で記者会見を行い「レカビ選手のSNSに自分の意思で帰国したという釈明があったが、韓国日程が残っていて選手個人が勝手に日程を調節しにくい現実を考慮すれば信じられない」と主張した。

続けて「現地ではレカビが空港から直ちに政治犯収容所であるエビン刑務所に移動するという言論報道も出た」とし「これはヒジャブ着用を拒否したという理由で女性選手を露骨に弾圧すること」と批判した。

イラン出身の女性パク・シーマは「レカビはイランでヒジャブ問題でデモし死んでいく女性たちを支持する意味でヒジャブを脱いで競技した」とし「彼女の行動がイランの多くの女性に勇気を与えたため無理に連れて行っただろう」と主張した。

彼らは、韓国政府が国際試合を主催しながら選手保護義務を怠ったと批判した。

難民人権ネットワークの金ヨンジュ弁護士は「難民協約と拷問防止協約加入国である韓国は生命・身体危険や拷問など非人道的処遇が発生しうる国家に(選手を)送還してはならない」とし「今からでも選手が出国

する過程のすべての記録と映像資料を確保し違法な強制送還があったのか明確に明らかにしなければならない」と強調した。

団体関係者 4 人はヒジャブデモに連帯するという意味で、はさみで自分の髪を直接切るパフォーマンスを行った。

記者会見の途中、イラン大使館側が車両を利用して行事を妨害し、揉め事が起きた。

大使館側は入車・出車を理由に記者会見が開かれた駐車場入口をしばらく車両で塞いだ。このため記者会見が中断されると、参加者たちが車両を垂れ幕で囲んでスローガンを叫びながら抗議した。

イランでは先月 13 日（現地時間）、マフサ・アミニ（22）がヒジャブ着用不良を理由に逮捕された後、疑問死した事件をきっかけに反政府デモが 1 ヶ月以上続いている。

このような中で今月 10～16 日、ソウルで開かれた 2022 国際スポーツクライミング連盟(IFSC)アジア選手権大会に参加したレカビ選手が 16 日から連絡が途絶え、パスポートと携帯電話を押収されたまま帰国したという外信報道が出て強制帰国疑惑がふくらんだ。

前日、レカビのインスタグラムアカウントには「アジア選手権大会でヒジャブ問題が浮上したのは私の不注意だった。国民に心配をかけて申し訳ないと思う」という文が掲示された。

この掲示物には「現在チーム員と共に予定された日程により帰国の途についた」という内容も含まれた。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20221019083600004?input=1195m>

07 週刊スポーツニュース

新体操青少年国家代表選抜戦「審判判定誹謗」

https://www.pressian.com/pages/articles/2022102015390791074?utm_source=naver&utm_medium=search

スポーツ倫理センター、障害体育人の人権保護の先頭に…実態調査の進行

<https://www.ebn.co.kr/news/view/1550962/?sc=Naver>

京一大学、ドローンスポーツ団創設

<https://www.mk.co.kr/news/society/view/2022/10/941920/>

蘆原区、「水落山スポーツタウン」オープン

<https://www.hankyung.com/society/article/202210249398i>

「少額購入、1 試合購入」スポーツト健全な楽しみ方

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202210240100158690010178&servicedate=20221024>

韓国 e スポーツ協会「3 級 e スポーツ審判研修 25 名修了」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20221024111700017?input=1195m>

国民体育振興公団、2022 スポーツ科学アカデミー修了

<https://www.news1.kr/articles/4841546>

2022 韓日青少年スポーツ交流イベント非対面実施

<https://www.jjan.kr/article/20221024580065>

遊びのように楽しむ10歳以前の新種スポーツ…健康維持、生涯運動の足場

<https://www.donga.com/news/article/all/20221023/116102650/1>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>